

P-D-2

生活習慣病型癌患者を対象とした統合的ライフスタイル介入

Integrated Lifestyle Intervention for Cancer Patients

○須見 遼子¹⁾、前田 和久¹⁾、大久保 郁子¹⁾、平井 啓¹⁾、
石崎 直人²⁾、福田 文彦²⁾、阪上 未紀¹⁾、真田 泰明¹⁾、伊藤 壽記¹⁾

1) 大阪大学大学院医学系研究科生体機能補完医学講座

2) 明治国際医療大学 臨床鍼灸学教室

Metabolic syndrome is related to the higher incidence of colon, breast and prostate cancers possibly through lifestyle, such as overnutrition and lack of exercise. To perform integrated intervention for cancer patients, we organize a team, consisting of doctors, dietitians, clinical psychologist, pharmacist, acupuncturists and aromatherapist aiming at the improvement of QOL and the reduction of their complications. We hope a new treatment strategy is established for the weight management in metabolic syndrome through performing the integrated intervention with using CAM tools to cancer patients.

【目的】

ライフスタイルの欧米化に伴う過栄養や運動不足が、大腸癌、乳癌、前立腺癌など多くの癌の発症と関連することが示されている。こうした背景から今回、ライフスタイルとの関連が示唆される癌の患者を対象に、医師、管理栄養士、心理士、薬剤師、鍼灸師、アロマセラピストがチームとなり、補完医療をとりいれた統合的なライフスタイルの介入を行い、癌の QOL・予後の改善・合併症の軽減を目指す。

【方法】

月 1 回、1 年サイクルの計 12 回介入を基本とする。①認知行動療法を取り入れた管理栄養士による栄養指導(エビデンスに基づいた癌予防指針を使用)と運動指導(加速度計付き万歩計を使用。万博公園での森林療法を含む)、②鍼灸師による、身体症状・精神的苦痛の軽減、食欲抑制調整の試みを目的とした鍼治療、③アロマセラピストによる身体・精神症状の改善、化学療法・放射線療法の副作用軽減を目的としたアロマセラピーを行う。栄養・運動指導を基本に、患者の治療状態に応じて、適宜スケジュールに組み込む。

また、癌手術時に採取された脂肪組織より脂肪幹細胞を単離培養し、メタボリックシステムセルとして代謝動態をモニターリングすることにより、機能性食品の科学的検証も併せて行う。

【結果・結論】

各専門家がチームとなり介入することや、患者にとってふさわしい段階でふさわしい治療ができることなどの理由から患者のモチベーションの維持につながり、体重減少の効果が期待できる。鍼灸治療やアロマセラピーを患者が経験することにより、補完医療に関する正しい情報提供の場としての役割も担う。

ライフスタイルの介入を行い、半年を経過した症例について報告する。

今後、補完医療を取り入れた統合的な介入を癌患者に行うことで、治療困難とされてきた体重管理に対する新たな治療体型の確立も目指したいと考える。